

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成29年8月31日(2017.8.31)

【公開番号】特開2016-54712(P2016-54712A)

【公開日】平成28年4月21日(2016.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2016-024

【出願番号】特願2014-185464(P2014-185464)

【国際特許分類】

A 01K 89/01 (2006.01)

【F I】

A 01K 89/01 C

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月24日(2017.7.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

図1及び図2に示すように、第2ペール支持部材22は、第1端部22aと第2端部22bとを有する。第1端部22aは、第2ローターム123に揺動可能に装着される。

第2端部22bは、ペール23の第2端部23bを支持する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

図3に示すように、ペール23は、略U字状のステンレス合金製の部材である。ペール23は、スプール130の外周面に沿って外方に凸となるように湾曲している。このペール23は、第1端部23aにカバー部23cを有している。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0034】

このカバー部23cは、支持軸24を介して、第1ペール支持部材21に支持されている。また、ペール23の第2端部23bは、第2ペール支持部材22に支持されている。釣糸案内機構2が糸開放姿勢から糸案内姿勢に復帰したときに、ペール23は、釣り糸をカバー部23cを介してラインローラ3に導く。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

支持軸24は、第1ペール支持部材21とペール23のカバー部23cとの間を延びる

。支持軸 2 4 は、筒状部 2 4 1 とボルト部 2 4 2 とを含む。筒状部 2 4 1 は、軸部 2 4 1 a と頭部 2 4 1 b とを有している。軸部 2 4 1 a は、円筒状であって、内周面に雌ネジ部が形成されている。頭部 2 4 1 b は、軸部 2 4 1 a よりも径が大きい。この頭部 2 4 1 b がカバー部 2 3 c と当接することによって、筒状部 2 4 1 の軸方向の移動が規制される。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 4】

第 1 及び第 2 規制部材 7 , 8 は、ベアリング部材 4 の軸方向の移動を規制する。詳細には、第 1 規制部材 7 は、軸方向において、ベール 2 3 のカバー部 2 3 c とベアリング部材 4 との間に配置される。このため、第 1 規制部材 7 は、ベアリング部材 4 のカバー部 2 3 c 側への移動（図 6 の左側への移動）を規制する。また、第 2 規制部材 8 は、軸方向において、第 1 ベール支持部材 2 1 の第 2 端部 2 1 b とベアリング部材 4 との間に配置される。このため、第 2 規制部材 8 は、ベアリング部材 4 の第 1 ベール支持部材 2 1 側への移動（図 6 の右側への移動）を規制する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 4】

第 1 シール部 5 1 c は、径方向において、第 1 規制部材 7 と間隔をあけて配置されている。すなわち、第 1 シール部 5 1 c の内径は、第 1 規制部材 7 の外径よりも大きい。このため、第 1 保持部材 5 1 が回転軸 O 周りに回転するとき、第 1 シール部 5 1 c は第 1 規制部材 7 とは実質的に接触しない。第 1 シール部 5 1 c の内周面は、第 1 規制部材 7 の外周面と対向している。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 9】

第 2 シール部 5 2 c は、径方向において、第 2 規制部材 8 と間隔をあけて配置されている。すなわち、第 2 シール部 5 2 c の内径は、第 2 規制部材 8 の外径よりも大きい。このため、第 2 保持部材 5 2 が回転軸 O 周りに回転するとき、第 2 シール部 5 2 c は第 2 規制部材 8 とは実質的に接触しない。第 2 シール部 5 2 c の内周面は、第 2 規制部材 8 の外周面と対向している。

【手続補正 8】

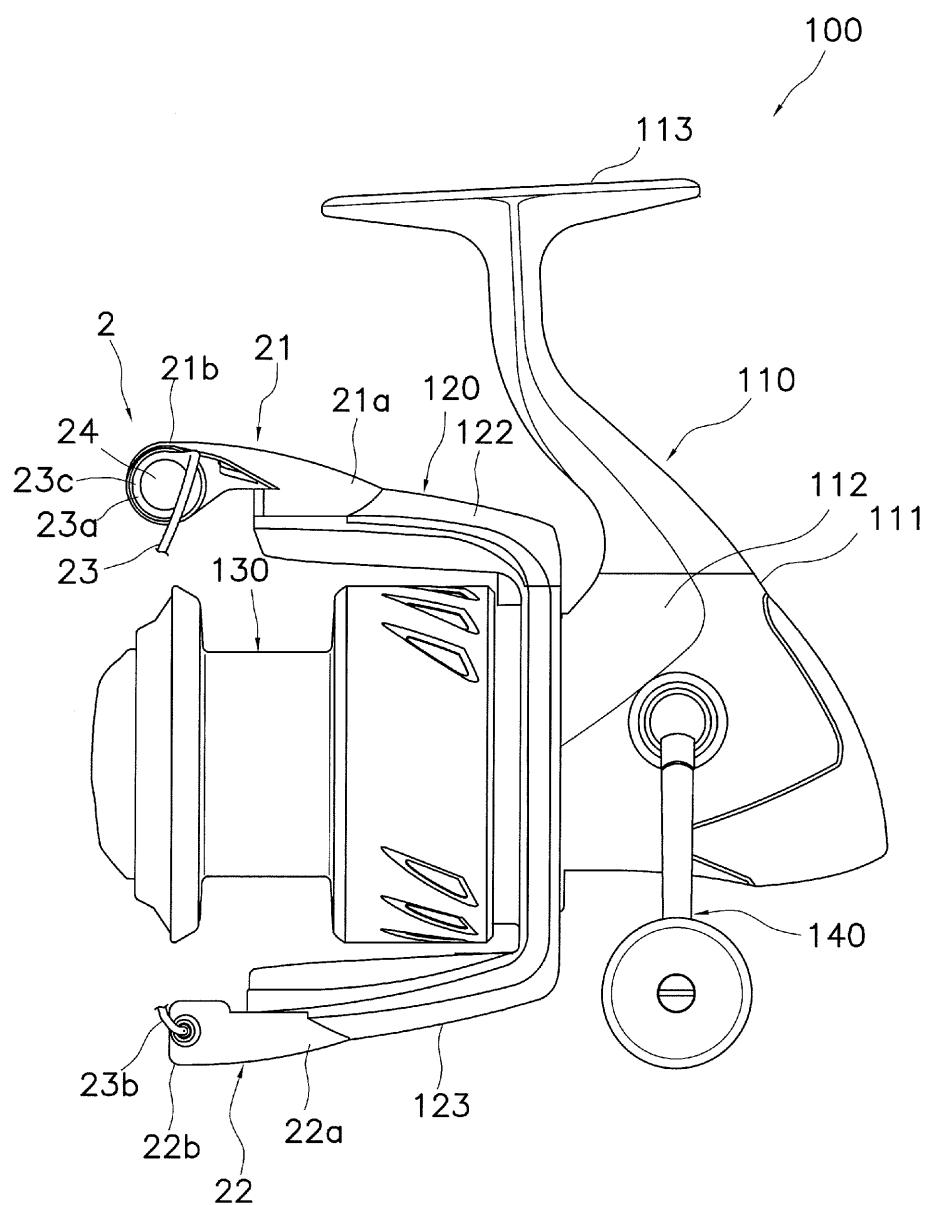
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】



【手続補正 9】

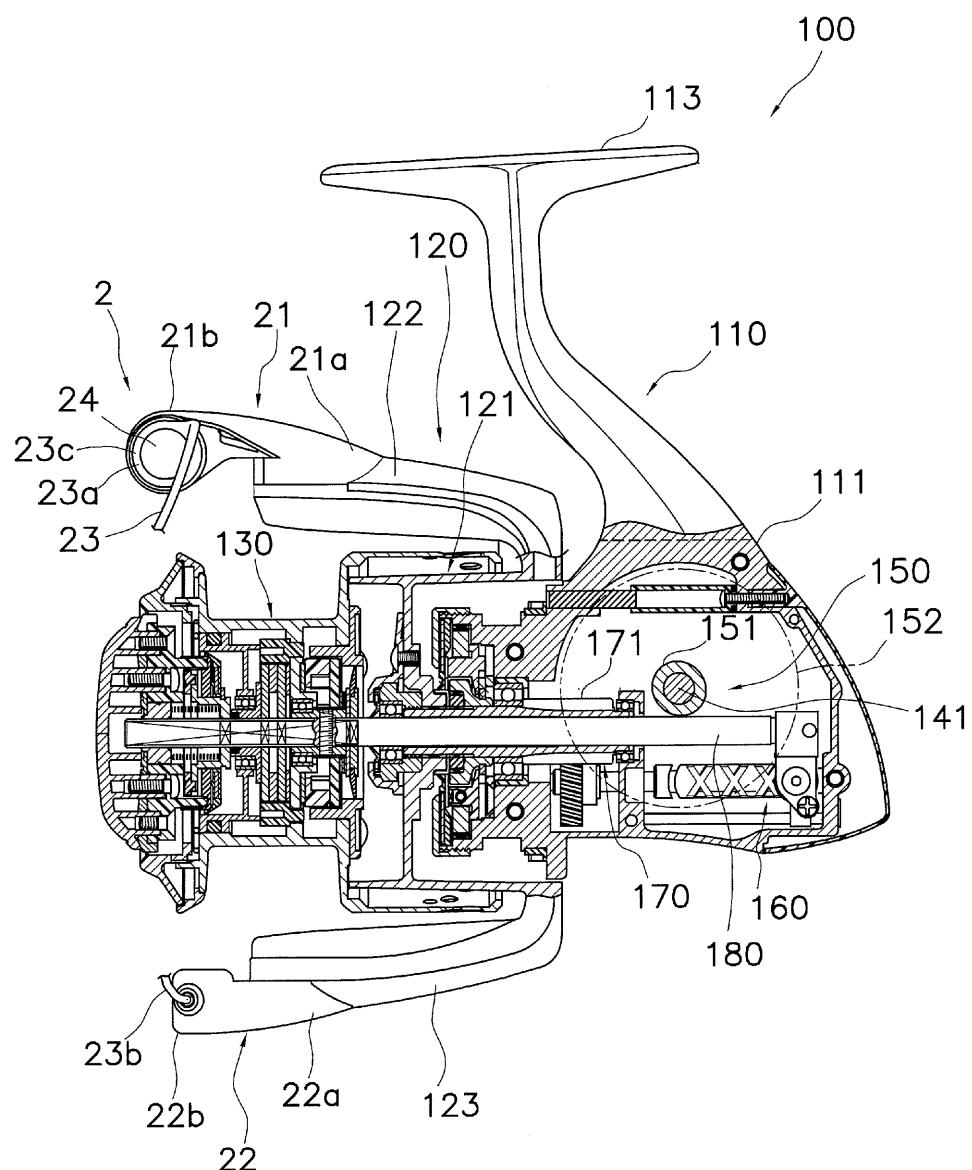
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図2】



【手続補正10】

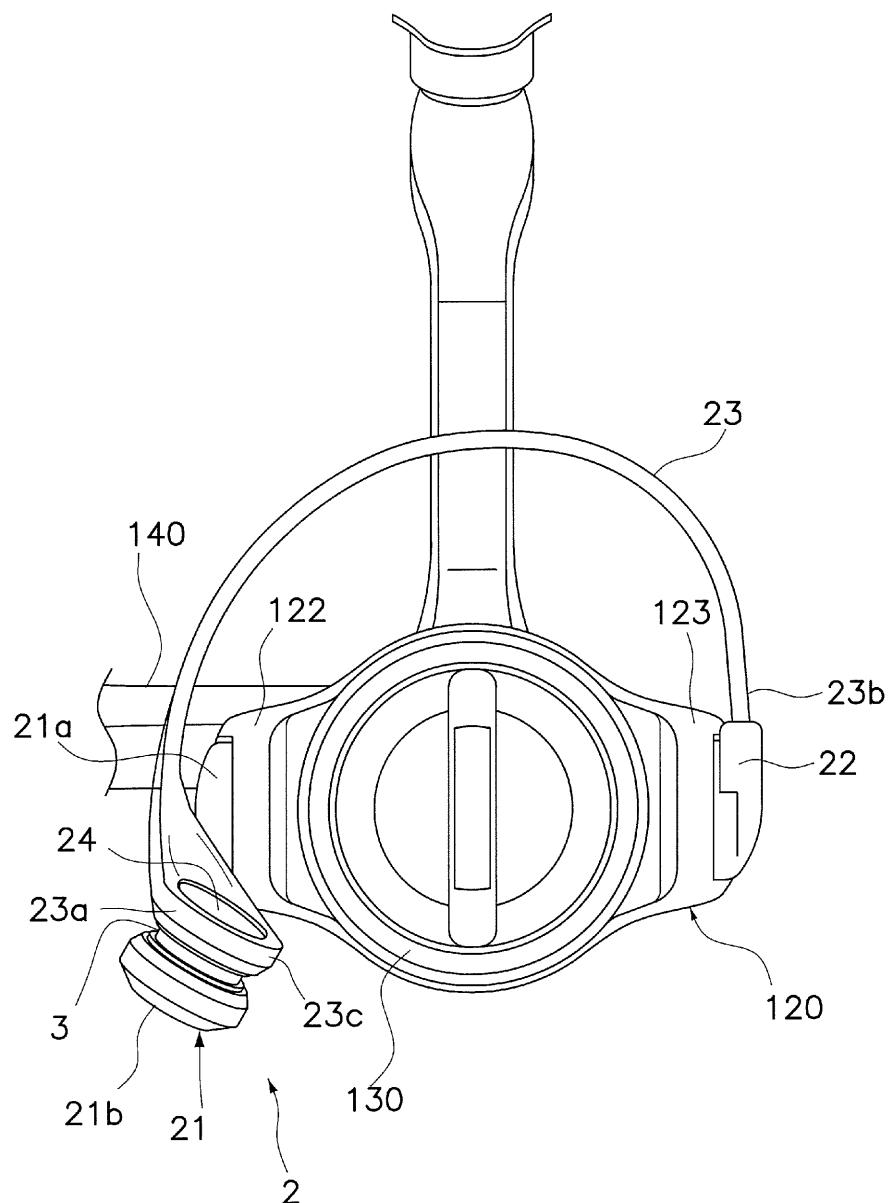
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図3】



【手続補正 1 1】

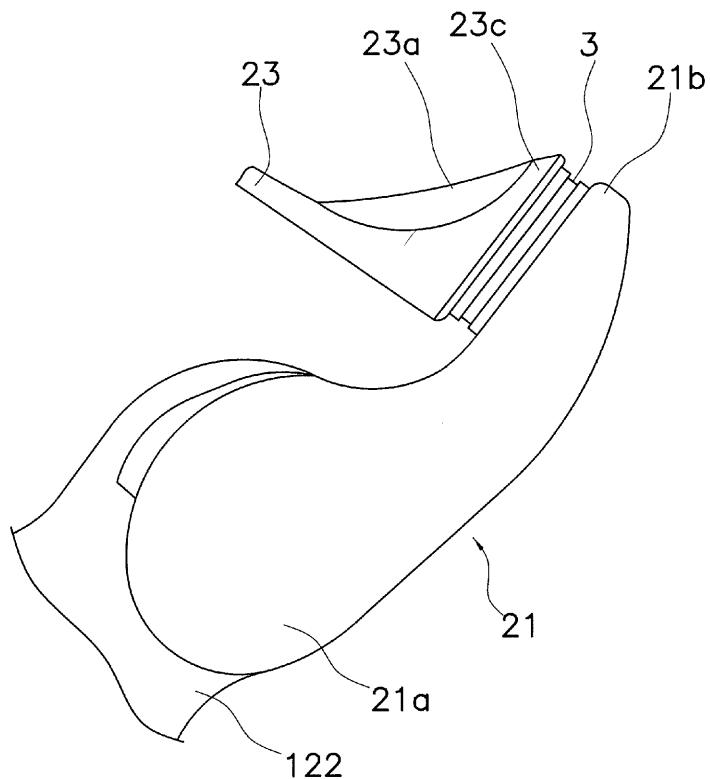
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図4】



【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図5】

